

# たんぽぽ通信 NO.33



7月に入り、蒸し暑い日が続いていますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。  
今回はお産で入院となったあとの流れについてお伝えしようと思います。  
病院への連絡方法、タイミングについては過去のたんぽぽ通信（No.30）をご覧くださいね。

## 陣痛室

子宮口が全部開くまでは  
陣痛室で過ごします

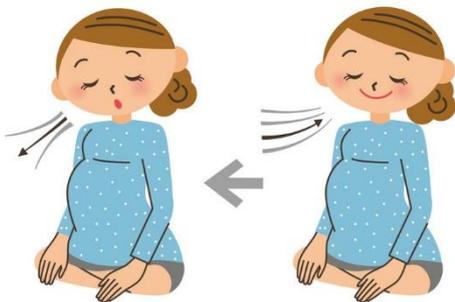
必要に応じて、お手持ちのルームウェアなどに着替えをします。  
体温・血圧を測り、内診をし、分娩監視装置を付けます。  
緊急時に速やかに薬剤を使用できるよう点滴の針を入れておきます。

※陣痛が始まったら、分娩監視装置は赤ちゃんが産まれるまで付けたままとなります。  
お手洗いなど必要時は外すことができますのでスタッフまでお知らせください。



## 分娩監視装置

赤ちゃんの心拍数や  
子宮収縮の状況が  
分かります



お腹や腰がはり、痛みはかなり強くなります。  
陣痛がきたら「ふ〜っ」とゆっくり深呼吸をして痛みをのがしましょう。  
指示があるまではいきまないようにしてください。  
陣痛が強いときはリラックスしてゆっくり呼吸をしましょう。  
ベッド上では、ママが楽な姿勢で過ごしてかまいません。  
抱き枕やクッション、テニスボールも貸し出しています。

助産師はママのサポートをします。不安などいつ

でも遠慮なくお話しください。

## 分娩室

子宮口が全部開いたら  
分娩室に移動します  
※分娩の状況で  
早めに入ることもあります



陣痛がきたら・・・スタッフの指示に従っていきみますよ。

- 深呼吸
- 分娩台のレバーをにぎって自分に引き寄せせるようにして力を入れる
- 目はしっかりと開く
- 自分のお臍をみるように

痛みが遠のいたら深呼吸してリラックスします。水分補給も忘れずに。

## 赤ちゃん誕生！！

おめでとうございます！  
誕生後、スタッフが必要な処置をし、  
体重計測をします

赤ちゃんの娩出後、軽い陣痛がきて、胎盤が出ます。  
胎盤が出たあと、そのまま 2 時間ほど分娩台で静かに  
ゆっくりと休んでいただきます。  
会陰切開をした場合は縫合を行いません。

※希望に応じて分娩台での初回授  
分娩の状況や赤ちゃんの状態に



乳も行うことができます。  
よっては行えないこともあります。

今回、お産で入院になったあとの流れについてお話ししました。

妊娠生活は楽しめていますか？どのようなお産のイメージをお持ちですか？

残念ながら、現在当院では感染症対策のため、陣痛室への家族の入室、分娩の立ち合いは原則として行っておりません。

そのような状況のなかでも、みなさんの心配なこと・不安なことを、楽しみに変えられるようスタッフが全力でサポートしたいと考えています。

病棟でみなさんをお待ちしております。